

<p>件名</p>	<p>第 1 回やまなし産業大賞の表彰について</p>
<p>経緯</p>	<p>1 表彰制度の趣旨 山梨県ではこのたび、本県産業の発展や地域経済の活性化に対する貢献が顕著な中小企業等を表彰することにより、県内の中小企業の活動意欲を高め、地域の核となる企業等を育成することを目的として、新たな表彰制度である「やまなし産業大賞」を創設しました。</p> <p>2 平成 21 年度の応募状況 多くの団体等のご協力をいただき、平成 21 年 9 月 11 日から 10 月 16 日まで募集を行ったところ、各団体からの選りすぐりの企業の推薦に加え、自薦による応募も含め全 18 件の応募がありました。</p> <p>3 選考 東京大学産学連携本部長の影山和郎氏を選考委員長として県内外の有識者等 10 名で構成する「やまなし産業大賞選考委員会」において、公平かつ厳正な審査を実施し、やまなし産業大賞 1 件、同奨励賞 2 件を決定しました。</p> <p>4 表彰式 (1)日時 平成 21 年 11 月 19 日(木) 午後 2 時から (2)場所 アイメッセ山梨の「山梨テクノロジー&マーケティングイニシアチブ」会場内 (3)式典 知事より表彰状と記念品を贈呈し功績を称えるほか、受賞企業の功績の紹介を行います。</p>
<p>受賞企業の概要</p>	<p>1 やまなし産業大賞(1社) 【受賞企業名】 株式会社 オキサイド(北杜市:代表取締役 古川保典) 【受賞理由】 優れた新技術・新製品の開発 画期的な単結晶育成法を事業化に繋げて、業容を益々拡大されている点が極めて高く評価されました。</p> <p>2 やまなし産業大賞奨励賞(2社) 【受賞企業名】 株式会社 サラダボウル(中央市:代表取締役 田中進) 【受賞理由】 産業人材の育成・確保に優れた取り組み 農業という産業の意味と社会的重要性に立脚し、農業人材の育成まで行う新しい農業ビジネスの提案と実践が高く評価されました。</p> <p>【受賞企業名】 山陽精工株式会社(大月市:代表取締役 白川寿一) 【受賞理由】 優れた新技術・新製品の開発 精密部品の加工業から脱皮をはかり、高温観察装置という新製品の製造に一から挑戦したチャレンジ精神が高く評価されました。</p> <p>各受賞企業の受賞功績の詳細は別紙のとおりです。</p>

(問い合わせ先)

商工労働部 産業支援課 技術・事業化支援担当 飯野

TEL 055-223-1541(直通)

やまなし産業大賞受賞企業の受賞功績の詳細

1 やまなし産業大賞(1社)

【受賞企業名】 株式会社 オキサイド(北杜市:代表取締役 古川保典)

【受賞理由】 優れた新技術・新製品の開発

携帯電話やテレビの部品に幅広く用いられている酸化物単結晶の欠陥を従来の 1/1000 以下に抑えるという国立研究所の研究成果を実用化するために、同研究所の研究者であった古川保典氏が北杜市内に設立したベンチャー企業である同社は、歩留まり率 98%以上という高品質化を実現した SLT 単結晶の製品化に世界で初めて成功しました。

さらに、その単結晶を用いた素子を組み込んだ光モジュールの開発など高付加価値化を図る事業展開を行い、2008 年度までの 10 年間で売り上げを 10 倍に伸ばしました。同社が開発した製品は「光の時代」といわれる 21 世紀において医療検査用レーザーや光通信用レーザーなど幅広い分野に利用が可能であり、「やまなし産業大賞」の受賞にふさわしいものです。

2 やまなし産業大賞奨励賞(2社)

【受賞企業名】 株式会社 サラダボウル(中央市:代表取締役 田中進)

【受賞理由】 産業人材の育成・確保に優れた取り組み

流通規格に合わせるための無駄な工程や熟練作業を省くことによる若い人材の農業現場への活用や、女性の感性を活かした「サラダボウルキッチン」の展開による女性人材の活用、また、作業工程の分解により障害者の受け入れにも対応するなど、農業というツールを使った人材育成の取り組みで様々な成果を上げています。大手商社やマスコミと連携した学校の展開や検定制度の創設に向けた取り組みも進めており、奨励賞の受賞にふさわしいものです。

【受賞企業名】 山陽精工株式会社(大月市:代表取締役 白川寿一)

【受賞理由】 優れた新技術・新製品の開発

下請けから脱却し独自製品の開発によるメーカーへの脱皮を図るため、電子部品等のはんだ付けを観察する独自の高温観察装置を開発し、電子部品メーカーや試験研究機関など幅広いユーザーに売り込みを行い、研究開発用途の分野で 80%のシェアを確保しました。また、EU が有害物質である鉛の電子機器等への使用を禁じる RoHS 指令を施行したため、無鉛はんだの技術開発のニーズが高まり、同社の製品は海外でも幅広い支持を得ています。

装置の構造設計や装置内の温度制御の技術を工夫するとともに、装置内の光学部品もレンズメーカーと共同で特殊なものを開発するなど、ノウハウが全くない状態から試行錯誤を重ねて高い品質の製品化を実現した同社の取り組みは、奨励賞の受賞にふさわしいものです。

平成21年度 やまなし産業大賞選考委員会 選考委員名簿

所 属	役職名	氏 名
東京大学産学連携本部	本部長	影山 和郎 (選考委員長)
山梨大学大学院医学工学総合研究部	教 授	武田 哲明
山梨県中小企業団体中央会	会 長	内藤 悦次
山梨県商工会連合会	会 長	竹井 清八
山梨県商工会議所連合会	会 長	上原 勇七
山梨県機械電子工業会	会 長	風間 善樹
日本経済新聞社	甲府支局長	藤原 弘明
日刊工業新聞社	東京支社長	尾崎 真一郎
関東経済産業局産業部	部 長	増田 仁
山梨県商工労働部	部 長	輿水 修策

影山和郎選考委員長 講評

本年度のやまなし産業大賞は、自薦により応募していただいた企業も含め、18の企業、団体の応募がありました。

さる13日に選考委員会を開催し、山梨県内外の10名の選考委員により最終審査を行いました結果、選考委員会として、やまなし産業大賞1社、奨励賞2社を選考させていただきました。

応募書類等を拝見し、プレゼンテーションの聴き取りをいたしました。いずれの企業等もチャレンジ精神を遺憾なく発揮し、独自の斬新なアイデアや様々な工夫により、大変すばらしい功績を挙げられていました。

山梨県はすばらしいアイデアや技術をもった「キラリと光る」企業が数多くあることを私も再認識いたしました。

初めに、大賞を受賞されました株式会社オキサイドですが、画期的な単結晶育成法を事業化に繋げて、業容を益々拡大されている点が極めて高く評価されました。

次に、奨励賞を受賞された株式会社サラダボウルですが、農業という産業の意味と社会的重要性に立脚し、農業人材の育成まで行う新しい農業ビジネスの提案と実践が高く評価されました。

さらにもう1社、奨励賞を受賞された山陽精工株式会社ですが、精密部品の加工業から脱皮をはかり、高温観察装置という新製品の製造に一から挑戦したチャレンジ精神が高く評価されました。

また今回残念ながら受賞されなかった企業には、受賞企業と甲乙つけがたい、すばらしい業績をあげられている企業が多くありました。

今後の業績の伸びや新たな事業展開により、このやまなし産業大賞に何度でも再チャレンジして、受賞の栄冠をつかみ取っていただきたいと強く感じた次第でございます。

過日、横内知事とお話しをさせていただく機会がありましたが、知事もやまなし産業大賞を「県内のすべての企業が受賞したいと思うような大きな意義のある表彰制度に育てていきたい。」というお話しをされていました。

私ども選考委員一同も同感であり、今後とも「やまなし産業大賞」がすばらしい表彰制度となっていくように、ご協力をさせていただきます。

最後に、このやまなし産業大賞ならびに受賞されました企業の皆様をはじめとする山梨県のすべての企業の皆様が、今後とも益々ご発展されますことを祈念して、私の講評といたします。